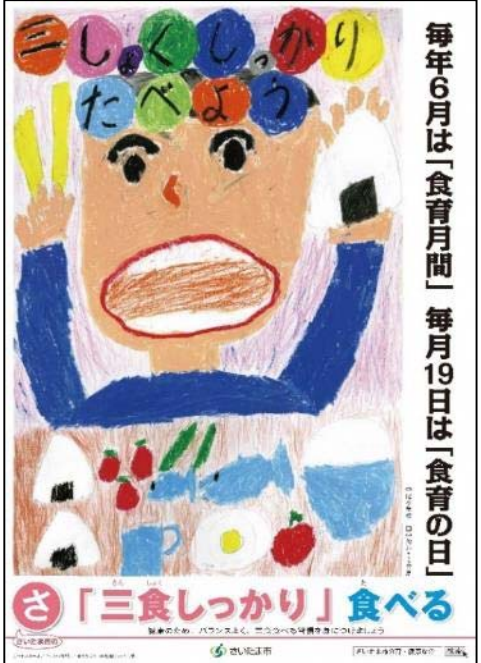


【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	さいたま市
取組市町村名 取組団体・企業名	さいたま市（健康増進課）
取組の名称	「三食しっかり食べる」の普及啓発
実施時期	6月
取組内容	○ポスターの作成・配布・掲示 第3次さいたま市食育推進計画の目標のうち、平成30年度の重点目標である“「三食しっかり」食べる”をテーマとし、小学生が描いた絵を使用したポスターを作成しました。 市内の保育施設、幼稚園、公立小・中・高校、放課後児童クラブ、公共施設等に配付・掲示しました。 健康のため、バランスよく三食食べる習慣を身につけることを啓発しました。  ○広報誌、インターネットによる普及啓発 広報誌「市報さいたま」6月号、市WEBサイト、さいたま市の食育に関するポータルサイト「さいたま市食育なび」（http://www.saitamacity-shokuiku.jp/）に、第3次さいたま市食育推進計画の目標「さいたま市5つの『食べる』」等を掲載し、普及啓発を図りました。 第3次さいたま市食育推進計画の目標「さいたま市5つの『食べる』」 - さ 「三食しっかり」食べる - い 「いっしょに楽しく」食べる - た 「確かな目をもって」食べる - ま 「まごころに感謝して」食べる - し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	さいたま市
取組市町村名 取組団体・企業名	さいたま市（さいたま市教育委員会 健康教育課）
取組の名称	さいたま市立小・中・特別支援学校の取組
実施時期	6月
取組内容	【ねらいと実施内容】 ○食育の意義を広めるために、給食だよりをとおして、「食育月間」の取組や学校における食に関する指導の内容を家庭へ紹介しました。 ○日本の食文化を継承するために、学校給食の献立に郷土料理を取り入れ、料理に使用する産物や料理の特色を児童生徒に紹介しました。 献立例・岡山県（蒜山おこわ） ・高知県（ぐる煮） ・香川県（肉もっそ） ・京都府（ゆばご飯、魚の西京焼き） ○児童生徒の食を豊かにするために、給食に身近な学校行事にちなんだ料理を取り入れました。 行事例・歯の衛生週間 ・運動部市内大会応援 ・林間学校、修学旅行 ○児童が食への興味関心を持ち、残さず食べようとする意欲を高めるために、給食で使用する食材に実際にふれる体験学習を行いました。 例・そらまめのさやむき ・とうもろこしの皮むき ○児童生徒が地域の食文化や産業等へ関心を持ち、理解を深めるとともに、生産に携わる方々へ感謝の気持ちを抱くことができるように、学校給食に地場産物を取り入れました。 献立例・小松菜（小松菜とわかめのサラダ） ・玉ねぎ（魚の新玉ねぎソースかけ） ・地元産米（〇〇さんのお米、〇〇区のご飯） ・ブルーベリー ○児童生徒が国際社会へ視野を広げ、世界の食文化について理解を深めるために世界各国の料理を学校給食に取り入れました。（今年度は、サッカー ワールドカップの開催国、対戦国を取り上げました。） 献立例・ロシア（ビーフストロガノフ、ピロシキ、ボルシチ） ・コロンビア（アロス・コン・ポーヨ、アヒアコ） ・セネガル（チキンヤッサ） ・ポーランド（グジボヴァ）

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	さいたま市
取組市町村名 取組団体・企業名	さいたま市 本郷児童センター 社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
取組の名称	「じゃがいもほり」の開催
実施時期	6月23日（土）
取組内容	対 象：幼児・小学生とその保護者、高齢者 目 的：じゃがいもの収穫体験をととして、親子とシニアの方との、世代交流を行い、コミュニケーションを深めます。 また、地域で栽培されている野菜のことで知り、自分たちで収穫した野菜に愛着を感じてもらうことで、食への関心を持っていただきます。 内 容：自治会長の畑にて、地域の方々同士コミュニケーションを図りながら、親子で楽しくじゃがいもの収穫を行います。 参加者募集数：40組1回 参 加 者：幼児43名・小学生18名・保護者46名・シニア4名 （合計111名） 成 果：多くの親子とシニアの方の参加があり、じゃがいもほりの実施を楽しみにしてくださっていました。 土に触れあいながら、親子、シニアの方がじゃがいもを収穫できた喜びを共有し、大盛況に終了しました。 自館に来館された際、「収穫したじゃがいもがおいしかった。子どもたちが喜んで食べていた。」と感想をいただき、子どもの食への関心に繋がっています。 毎年、利用者の方に、ニーズの高い事業です。